



灰ヶ峰より眺める呉港

断酒

みどりの友

発行所 呉みどり断酒会
 事務局 呉市 押 込 5-12-25
 渡部 憲方
 郵便番号 737-0915
 電話 33-5571
 発行人 渡部 憲
 (編集代表)
 印刷 松広印刷機

迎春

今年もよろしく
 お願い申し上げます



元日の朝だというのに……

会長 渡部 憲

新年のおよろこびを申し上げます。

大きな行事を主管することの大変さ、苦勞は言うまでもないが、それよりも強く感じたのが、会員家族の結束が不可欠であり、更に全国各地の朋友の温かい激励、友情がどんなにか勇気づけてくれたことか。

第39回中国断酒ブロック(呉)大会(4月3日)

目を閉じれば浮かんでくる。「会長、良かったよ。素晴らしい大会だったよ」と言って、帰り際に、玄関ホールで肩をたたいて手を握って下さった先輩諸氏。何度も何度も目頭が熱くなってしまった。

30代で朝酒が止められなくなっていました。

元旦の早朝、さすがに団地の路地に人の姿はない。私一人が缶ビール片手にフラフラと夢遊病者のよ

うに歩いている。

(ああ、こんなことをしていたらいかんなあ……。よし、今年を迎え酒はこれで最後にしよう……)と、

独り言をつぶやきながら、残りを道端にこぼし、正月飾りがしてあるよその玄関の門柱の上に、そつと空缶を置いて立ち去る私。

否認なんかしなかった。完全にアル中になっていると自分で感じていて、何とかして止めなきゃいかんと、毎日毎日思っていた。でも、どうする事もできなかった。ひとりでは……。

そんな孤立してしまった私を救ってくれたのが断酒会である。

様々な困難にぶつかる事も多い。仲間の「和」の中で頑張っている。こう。

缶ビール片手の元旦の朝はもう嫌だから……。

呉みどりヶ丘病院創立34周年記念特別例会



アメシスト
笹尾靖子

私は、呉みどり断酒会に入会させて頂いて四ヶ月半くらい経ちます。笹尾靖子です。

本日は、創立三十四周年記念特別院内断酒会での体験発表をさせて頂きまして、ありがとうございます。

私は、四十年前に倉敷に生まれました。私の年令では、珍らしいかもしれませんが、父は刀の研師をしていて、サラリーマンを始めて始めた為、収入はあったり無かったりの生活で、母が機械編みの内職や、パートに行き私と弟を育ててくれました。その日に出来たセーターやカーディガンを一枚三枚持つて行って内職代を貰って、その日の父の酒代と夕食のおかず代にしています。着物といっても上等な物ではなくても質屋に入れた事もあったと聞きました。

そんな中で、私は家の手伝いと弟の面倒を見ていました。友達と同じには出来ない。いつも父は「よそはよそ、うちがうち」と言っていて何かと厳しく、夕食になると、お酒の飲み量が多く時間が長くなると、大声でどなる、物は壊す、最後には「わしなんか居らんでもええんじやろうが」と言い、外に出て行こうとする。



主人と

○まさか私も：

そんな父の相手をして苦勞していた母の姿を見ていたにもかかわらず、私が父を超えてしまうなんて。本当に多くの人達に、心配と迷惑を掛ける結果になってしまいました。今は私達の娘一人が、私に似ていない事を祈るばかりです。父の事を話させて頂きましたが、私の大量飲酒のきっかけは、主人の父の死をきっかけに、平成五年十二月末から、七年半の姑さんとの同居を経て子育ての面で、どうしても私が我慢できなくなり、へうつ状態になり安登の家から今の、広の家へ引っ越しました。前に住んでいた事のある広には、私の友達もいます。

○飲酒の苦しさを思い出して。

やっと家族四人の生活が始まると思つた矢先の十二月、主人の単身赴任が決まり心細さと淋しさから、今思うと全部、私の甘えと無責任さと、我慢が足りなかった。そこから逃げたいだけのお酒でした。初めは夕食の時にビールを一缶、それが夕食を作るときにビールを飲みながら作る。半日パート

の仕事が済むと、帰って昼ご飯を食べながらビールを飲む。



愛犬フランと

夕食を作りながらのビールだけでは足りず、焼酎の水割りを飲む。最後には、朝から飲む。二日で一升の焼酎が無くなる程の飲み方でした。ご飯が出来上がった頃には、自分は完全に酔っ払っている状態で学校から帰った娘が「母さん！お酒飲んどるじゃろう」と言っても「いや！飲んでないよ」と言い、酒は見つからない場所に隠し酔っ払っているのです、子供の話を聞いてやる事が出来ない。一緒に夕食を食べられなくなり受け付けるのは酒だけ、おかずを考える頭は働かなくても、酒を買う事は絶対に

忘れない。飲んで吐き、また飲む。夜娘達を困らせる。飲んで車で出かける。大声で訳のわからない事を言う。カミソリを出して手首を切ろうとする。「母さんなんか居らん方がいいんよ！」と言い実家へ行くと言って車のカギを隠されることもありました。娘達が相談出来る人は、主人と実家の両親と弟でした。友達にも、先生にも言わず、じっと我慢して私が酒を飲まなくなる事を応援してくれた娘達、心の傷を想像することは、私には出来ません。でも深い傷を負わせてしまった事は事実です。

○主人の単身赴任で

去年の十月の一ヶ月間、実家に行き酒を止めようとした時、再飲酒して、今年の二月主人の単身赴任先の北九州に行った時、娘達二人は分担して家事、学校、仕事と頑張ってくれました。それなのにまた再飲酒、結婚して二十年の中で、たった一度主人の所で隠していたビールの空き缶を見つけたり、ほったたを殴られました。「まだ広の家には帰らせられんな」と言う主人に頼み込んで連れて帰って

貰いました。その主人が、散髪に行っている間にクリーニングを出しに行き、帰りに買ってはいけないという気持ちとは反対に自販機でビールを四缶買って帰って、一気に飲んでしまいました。帰ってきた主人と下の娘が「酒くさい！飲んだじゃろー何で飲むん」と言いました。外に出していた缶も見つかっているのに「飲んでないよ！」と言う私。少し沈黙がありました。もうダメだ。自分の力ではどうにもならない、入院しよう。



主人と二人の娘

主人に「父さん！お願い病院に連れて行って」と頼みました。

二月二十一日でした。それからも、また家族に迷惑を掛ける日々が続きました。主人は四月から呉の本社へ返して貰い、長女は彼氏といっしょに生活を始め、五月二十八日の退院の日までの間、院長先生、病院関係の方々には大変お世話になり、栄養失調状態で頭も働かなくなっていた私を、少しずつでも家の事が出来るまでに、回復させて頂き、本当にありがとうございました。

○断酒会の仲間

退院後すぐ入会させて頂いた。断酒会の先輩の方々、いつも暖かく見守って下さり、アドバイス下さる事、本当にありがたく感謝しています。広島ふたば会のアメシストの方々仲間に入れて頂き、すごく、私は元気づけられました。こんな私ですが、今後とも断酒会出席、例会出席を大切に一日断酒の継続に努力し困った時は、院長先生と断酒会の先輩方に相談させて頂き、今まで心配と迷惑を掛けた人達に少しでも、飲んでいない自分を見て貰えるように頑張ります。

初めに少し触れましたが、何も知らない姑さんは、私がへうつんで入院していたと思っっています。今、お互い、しょっちゅう電話で話をしたり、会ったりする様になりました。今一人暮らしをして

いる姑さんの事は、家族と共に頭に浮かんで来ます。本当の事を言えない心苦しきの裏返しなのかも知れません。色々な人の為にも私が元気でいなければと思います。そして、これからも断酒を続ける事で掛ける迷惑を主人と娘達に許して貰いたいと思います。本日はありがとうございました。



第41回全国(京都)大会が、10月24日京都府立体育館に於て、総勢四千三百余名の参加で盛大に開催された。



第41回全国(京都)大会

当会からは30名が参加。続々と会場に集まって来る全国の朋友と久々に再会を喜び合う光景は、いつ見ても気持ちがいい。



各ブロック代表の生々しい体験

発表に、胸を熱くして聞き入り、同時に自分の過去を思い出し、現在しばらくの期間でも酒を断ってこの場に座っておられる「幸福」を噛みしめる大会であった。

当会は、今年も恒例となった前日の観光巡りを実施した。

23日早朝に大型観光バスで発った我々一行(26名)は、昼には清水寺に到着。参道脇の「湯豆腐懐

第41回全国(京都)大会

石料理」のお店で舌づつみを打った。これぞ真しく「京の味」と、みんな満足そうであった。



大原三千院にて



清水寺にて

「はあ、生きちよる間に二度とここへ来るこたあないかも……」「あんたはまだ若いけん。うちこそ最後じゃろうで」などと語り合いながらの参拝である。

次の目的地「大原三千院」は、ほとんどの人が初めてで、モミジの紅葉には少し早かったけど、歴史を偲ばせる建物、真っ青な苔庭。しばし心を洗われるような気分の参拝であった。

宿泊は雄琴温泉の琵琶湖グランドホテル。

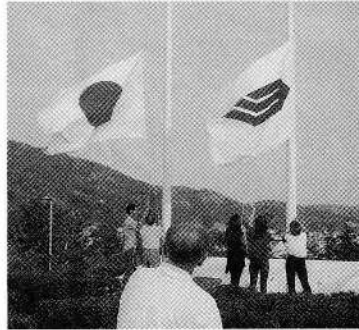
「おい露天風呂行こうや」と連れ添って、疲れた体を湯につかり、夕陽に染まる琵琶湖を眺めながら(ああ、やっぱり来てよかったなあ……)とつくづく感じた。

来年は札幌大会である。その次は、いよいよ広島大会である。



琵琶湖グランドホテルの夕食の宴

第34回広島県断酒会連合会研修会



江田島青年の家

9月18日～20日に、県連研修会が約二百名の参加で行われた。活発な体験発表。二日目に院長先生の講演と記念写真。当会ではアメリシスト2名の初参加を含め24名が参加した。



楽しい食事時間

呉みどりヶ丘病院創立34周年特別院内断酒例会

創立34周年を迎え、呉みどりヶ丘病院創立34周年記念の特別院内例会が、10月17日(日)、療養生とさながら同窓会を思わせる、大勢の会員家族の参加者で記念会が催された。

療養生、会員(当会からはアメリシストの笹尾靖子さん)の体験発表が行われ、院長先生の御所感をいただき、呉みどりヶ丘病院の益々の発展を祈念して終了した。



第9回福山一泊研修会



11月20日～21日と、好天気恵まれた研修会場「みろくの里」。開催される場所が、今年より民間の施設で会場も広くなった。研修会の区切りに、神戸協同病院の中田陽造先生の所感をいただいた。

休憩時間には、会友達が笑顔で楽しそうに、話している姿があちこちで見られた。

待ちに待った夕食は、ご馳走で所管された会員家族皆さんには大変お世話になり、連鎖握手と万歳三唱で無事終了。

例会風景『新会員の集い』

毎週水、土曜の例会の他に、月一回新入会員を中心とした集いを実施している。ずっと以前は、高路、田中両相談役のお宅をお借りしての開催だった。

会員の中には、「新会員の集いで、先輩に徹底的に悩みを聞いてもらった。あの時から断酒会と私の間の壁の様な物が取れたような気がします」と語る人も多い。

和やかなムードの中にも、一層新入会員の方々が親しみ易い断酒会づくりを目指して、これからも「新会員の集い」は続けていきたい。



序々に笑顔も…

酒なし忘年感謝会

歴史的な災害にも見舞われ、会員の中にも家屋・工場等に大きな被害を受けた者も多かった。

「来年こそいい年でありたい！」

そんな思いで、恒例の第38回酒なし忘年感謝会が、来賓、朋友も招いて、シテイプラザカンコーに於いて、12月8日(休盛大)に開催された。

熱唱が続く中、初参加の会員の少々あがり気味の熱演に大きな拍手が起り、和気あいあいのひと時を過ごした。〈断酒幸福〉を肌で感じる瞬間でもあった。



寄付者御芳名

(8月度)

福山断酒友の会様 五、〇〇〇円

感謝箱 七、〇八〇円

(9月度)

呉 大下忠志様 一〇、〇〇〇円

感謝箱 五、一四四円

(10月度)

呉 石田眞一様 一〇、〇〇〇円

感謝箱 四、〇二九円

新入会員紹介

・呉市広杭本町一〇一三一

レジデンス矢口三〇四 中村公俊

・賀茂郡黒瀬町市飯田四六四一

角田昭彦

・呉市本通六一七七一三〇一

平本照美

・呉市焼山桜ヶ丘一一一八

野田吉丸

断酒継続おめでとう

☆一年 松原宏治 10月1日

☆一年 中司仁博 10月25日

行事予定

●1月29日～30日

第28回東予ワンナイトセミナー

(石鎚社会館)

●2月5日

呉みどり断酒会創立38周年

記念例会

(呉みどりヶ丘病院)



8 月例会動員数

行 事 名	回	正会員	家族会員	賛助会員	他会員	院内会員	PT-センター	合 計
土曜例会	4	127	65	12	45	243	96	588
水曜例会	4	141	54					195
ブロック例会	1	23	18					41
家族の集い	2		29					29
懇談会	1	3						3
特別院内例会	1	22	12					34
断酒新会 大船土島支部 15周年記念例会	1	11	3					14
山陰断酒学校	1	16	2					18
常任理事会研修 役員会	1	4						4
役員会	1	7						7
合 計	17	354	183	12	45	243	96	933

10月例会動員数

行 事 名	回	正会員	家族会員	賛助会員	他会員	院内会員	PT-センター	合 計
土曜例会	5	177	82	17	52	300	119	747
水曜例会	3	100	36		3			139
ブロック例会	1	24	18					42
新会員の集い	1	14	7					21
家族の集い	2		34					34
懇談会	1	5						5
34周年記念特別院内例会	1	28	15					43
第41回全国(京都)大会	1	18	12					30
県連理事会	1	6						6
役員会	1	7						7
合 計	17	379	204	17	55	300	119	1,074

9 月例会動員数

行 事 名	回	正会員	家族会員	賛助会員	他会員	院内会員	PT-センター	合 計
土曜例会	4	147	67	11	49	250	90	614
水曜例会	5	151	54		4			209
新会員の集い	1	14	8					22
家族の集い	2		32					32
懇談会	1	4						4
特別院内例会	1	20	11					31
(S)岡山県山断酒会新生会周年大会	1	26	13					39
第34回県連研修会	1	19	5					24
役員会	1	7						7
合 計	17	388	190	11	53	250	90	982